



六桜花



令和3年度 第11号

初島小学校 学校通信
令和3年 9月27日

初中ソーラン

5・6年生が、運動会での披露を目指して“初中ソーラン”を練習しています。子どもたちは、初中ソーランを応援して下さる地域の方々や卒業生の思いと、地域の唯一の学校になってしまう責任感を踊りに込めて受け継ごうとしています。



先日、初中ソーランを立ち上げたときの生徒会長 東山 祐^{ゆう}さんと、お話をする機会がありました。閉校する初島中学校の記念誌に寄せた東山さんの文章の中から少し抜粋させていただきます。(本人と初中の了解を得ています)

「・・・時は流れ、私が20歳の成人式を迎えたとき、初中の生徒がステージで、あの時作ったソーランを披露してくれたのだ。私たちは、受け継がれていること、練習して披露してくれたことに感動し、感謝の気持ちがこみ上げた。

思い出が詰まった初中が閉校してしまうことは非常に残念である。わがままかもしれないが、この「初中ソーラン」はこれからも何かの形で受け継いでほしいと思う。地域に愛される初中をこれからも忘れないように。」

練習はじめの5・6年生の児童たちは、この文章や説明を真剣な表情で聞いていました。学校、地域、伝統を愛し大切にす素敵な人に成長して欲しいと思います。当日に書いた作文を一部紹介します。



*ぼくは、運動会で、初中ソーランを踊ることになって、とてもいいことだと思います。その初中ソーランを作った人の思いものせておどればいいなと思います。初中の人たちが、ぼくらがおどるソーランを見られるかはわかりません。でも、その気持ちでおどりたいです。(男子)

*地域の伝統は、その地域の人しか守ることができません。だからぼくはいいと思います。初中で(去年)教えてもらってから、自然教室でしかやってないので、忘れていたところが多かったです。運動会までに補って、最高のソーランにしたいです。(男子)



*ぼくが思ったことは、初中の生徒と会長の人たちがこの初中ソーランを考えたからです。そして、それをみんなに教えて、初中に広めたことがすごいと思ったからです。初中ソーランだけで、みんなを盛り上げられるんだなと思いました。ぼくも、そんな初中ソーランにできるように頑張りたいと思いました。(男子)

*私は、この話を聞いて衣装をデザインしていたなんて知りませんでした。みんなががんばって作ったオリジナルもあるから、初中がなくなっても、初中ソーランも忘れられるんじゃなく、しっかりと受け継ぐことができたらいいなと思いました。(女子)

*私が一番大切にしていきたいものは、それは、初中で育てていった人の思い、初中へ残していった思いです。初中はもうなくなってしまいます。初中がなくなると、初中ソーランもなくなる。7年前の思いがなくなる・・・私はそんなことはしたくありません。生徒会だった人が作り上げた初中ソーラン。何回も何回も教えた努力。実を結んだときのうれしさ。私たちはそれらをすべて受けついでいくのです。初中ソーランを引きつぐ。初中と初小の思いがつながる。とても大切なソーランを。(女子)

【5・6年生の保護者の皆様へ】

10月1日(金)ミニ運動会での初中ソーランを、多くの方に観て頂きたいという思いから、動画をYouTubeで11月初旬まで限定公開します。視聴方法については、次号の六桜花でお知らせ致します。年度初めに、個人情報(写真掲載等)のお断りをしているところですが、今回の動画配信について不都合がある場合は、9月30日までに学校へご連絡ください。よろしくお願い致します。

椒古墳見学

6年生は、9月16日ENEOS内にある椒古墳の見学に行き、市の学芸員の方から説明を受けました。5世紀中頃の前方後円墳であること、石室の中から箱式石棺が発掘されたこと、出土品の冑(かぶと)は朝鮮から伝わったとされる全国的にも珍しいものであること、冠に付けられた金具は六弁の花形のもの(六桜花として初小の校歌に歌われ、校章のデザインにもなっている)などがあることがわかりました。また、ENEOSの方から工場の説明もして頂き、充実した学習となりました。



初小の子どもたち



きれいにします(1年掃除)

大豆について調べ中(3年)

運動会に向けて草引き(2年)

お互いの考えを交流(5年国語)

練習の後、もりもり食べます(4年)